

第 67 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

1. 日 時:2014 年 2 月 25 日(火)13 時 30 分～15 時 20 分

2. 場 所:日本機械学会 第 1 会議室

3. 出席者:(委員 23 名中、出席者 22 名(うち代理 2 名)、欠席者 1 名)

小溝(阪大)、藤田(MHPS)、飯田(東電)、木村(NIMS)、三好(川崎重工)、
西村(MHPS)、大橋(IHI)、松本(東芝)、佐藤(発電技検)、野井(ロイト)、
長谷川(新日鐵住金)、天野(早大)、岡(富士電機)、西川(自家発電話会)、
鈴木(電源開発)、鈴木(電気協会)、松田(HSB ジャパン)、野田(経産省)、
桑野(関電)、五代儀(火原協)

代理者:齊藤[奥村(中電)]、山崎[屋口(電中研)]

欠席者:三原(富山大)

オブザーバ:高川(パブ日立)、茂田井(東電)、井手(東電)、鈴木(東電)、齋藤(原安進)

事務局:海野(記)

4. 配付資料

67 - 1 . 第 66 回火力専門委員会議事録(案)

67 - 2 . 専門委員会・分科会委員案

67 - 3 . 第 67 回規格委員会議事録(案)

67 - 4 - (1) 材料分科会報告,(2) 構造分科会報告,(3) 溶接分科会報告,(4) 配管減肉分科会報告

67 - 5 . 発電用設備規格委員会書面投票結果報告

67 - 6 . 委員会資料の取り扱い内規(案)について

5. 議事

(1) 前回議事録確認

[資料 67-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 専門委員会委員、役員の承認

(2 - 1) 専門委員会委員の承認

[資料 67-2]

火力専門委員会の以下の委員の再任意向および新任候補が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で、次回規格委員会に推薦することが承認された。また、以下の退任委員が報告された。

なお、三菱重工業と日立製作所の火力部門事業統合に伴い藤田委員および西村委員が専門委員会運営規約に定める同一組織からの委員となることから新会社三菱日立パワーシステムズとの調整を行った結果、西村委員が委員退任することとなった(2 / 25 付)。

・ 火力専門委員会:(退任)築山 忠佳 委員,西村 真琴 委員(2 / 25 付で退任予定)

(新任候補)高川 浩仁 氏(パブ日立)

(再任候補)三原 毅 委員,天野 嘉春 委員

各分科会の以下の新任候補の推薦および以下の委員の再任意向および役員の互選による

推薦が報告された。挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・ 材料分科会：(新任候補)なし
(退任)なし
(再任)木村委員
(主査候補)木村委員(再任)
- ・ 構造分科会：(新任候補)なし
(退任)なし
(再任)なし
- ・ 溶接分科会：(新任候補)なし
(退任)なし
(再任)なし
- ・ 配管減肉分科会：(新任候補)なし
(退任)なし
(再任)なし

(3) 規格委員会、分科会他報告

(3 - 1) 発電用設備規格委員会報告

[資料 67-3]

第67回規格委員会の審議内容のうち、火力専門委員会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定案の可決(運営企画委員会への上程)
- ・ 委員会資料取り扱い内規案再投票の承認
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3 - 2) 材料分科会報告

[資料 67-4-1]

木村委員(材料分科会主査)が第70回材料分科会(H26.2.18)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2014年4月23日(水)に開催予定。

- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。ASME Code Case 材の新規材種について分科会各委員にJSME規格への取り入れ可否のアンケートを実施することとした。
- ・ P-4 材の熱処理温度について発電設備技術検査協会より情報提供があり審議の結果、最低温度を650 とすることとした。

(3 - 3) 構造分科会報告

[資料 67-4-2]

飯田幹事(構造分科会主査)が第79回構造分科会(H26.2.5)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は2014年5月16日(金)に開催予定。

- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。
- ・ 次回改訂(201X)版におけるASME B31.1 Power Pipingの引用年版を、現在レビュー中

の 2010 年版から、材料分科会が取り入れる方針とした 2012 年版に変更するかについて審議を行い、最新知見の反映・誤記等精度の向上等、変更することでの規格使用者へのメリットを勘案し、2012 年版に変更することとした。

(3 - 4) 溶接分科会報告

[資料 67-4-3]

茂田井氏(溶接分科会幹事)が、第59回溶接分科会(H26.2.20)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2014 年 5 月 12 日(月)に開催予定。

- ・ 審議履歴表を元にレビュー票審議の状況について報告された。

(3 - 5) 配管減肉分科会報告

[資料 67-4-4]

井手氏(配管減肉分科会主査)が第5回配管減肉分科会(H26.2.7)の審議事項および決定事項について報告を行った。次回は 2014 年 4 月 25 日(金)に開催予定。

- ・ 火力設備配管減肉管理技術規格の親規格となる配管減肉管理に関する規格(JSME SCA1-2005)が 2005 年より改訂されておらず原子力専門委員会配管減肉分科会より今後の方針を検討するにあたり火力側と相談したいとの申し出があった。3/5 の幹事会でタスク設置要否等進め方を相談する予定とのこと。原専配管減肉分科会から規格本文及び参考資料(技術的知見)について見解が求められ、今後、2 月末に技術的知見、4 月上旬に規格本文について意見集約後、回答する方針であることが報告された。
- ・ 火力設備配管減肉管理技術規格 2009 年版のレビューを行っており審議履歴表を元に審議の状況について報告された。
- ・ 富士電機より新規提案の放射線透過式配管厚さ測定装置に対する委員意見への対応案が回答され、各委員が持ち帰り確認することとなった。また、実機の測定結果や保温材と配管との隙間による芯ずれ時の補正計算方法等について説明がなされ、実機での測定データが非常に少ないため、採用にあたっては測定データ(数・条件)等の追加提示が必要であることを説明したことが報告された。意見対応案については3月14日まで各委員のコメントを集約することとなったことが報告された。

(3 - 6) 発電用設備規格委員会書面投票結果報告

[資料 67-5]

発電用設備規格委員会にて書面投票を行った1件について結果を報告した。

書面投票番号: No. 242

投票議案名: 委員会資料の取り扱い内規(案)の承認

書面投票期間: 2013年12月13日～2014年1月21日

投票結果: 投票終了

投票成立: 委員総数の5分の4以上(24 票)の 28 票の投票があり、投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上(19 票)の賛成票が無く、意見付反対票も5票あるため、投票議案は可決とはせず、提案者より反対意見への対応を行うこととする。

< 投票内訳 >

委員 29 名中	賛成 12 名
	反対 5 名
	保留 11 名

不投票 1 名

(3 - 7) 発電用火力設備規格エンドース審査について

[資料無し]

現在、発電用火力設備規格基本規定2012年版(H24年5月JESC承認)がJESCから国へ活用要請がなされているが、野田委員より現在の審査状況について報告された。

・審査の過程で、省内において火技解釈との安全水準の同等性に関する意見があったため、関係する専門家へのヒアリングを行い、現在、取扱いの方針についてまとめているところ。

・現時点では今後の見通しについて、この場で公表できる状況にはないが、課題がクリアされれば審議会に諮った上で速やかに火技解釈に取り込む方向。

(4) 審議事項

(4 - 1) 規格委員会等での資料の取扱い内規案

[資料 67-6]

提案窓口である原子力専門委員会幹事会の齋藤委員より、発電用設備規格委員会での書面投票意見とその対応方針について現状の改訂案を元に説明された。今後、発電用設備規格委員会で説明し、それを受けた最終の改訂案について書面投票を行うことについての提案がされた。提案を受けて、規格委員会後の最終改訂案について火力専門委員会として書面投票(再投票)を開始するかについて審議され、挙手による決議の結果、書面投票の開始が承認された。

6. 次回開催予定

日 時: 2014 年 5 月 26 日(月) 13:30 ~ 17:00

場 所: 日本機械学会 第1会議室

以 上